

法人の概要

■建学の精神

建学の精神は、『教育は愛なり』である。この建学の精神は、「学生生徒一人ひとりをとことん大切にする。」本学院創立者鶴虎太郎の教育実践から生まれた。

また、この建学の精神は経営の基本理念でもあり、この基本理念に沿って、大学及び短大にあつては「信和・協同・実践」を教育理念として教育目標を設定し、高校にあつては教育方針を設定している。

教育分野においては、学生生徒の目線に合わせたさまざまな改革・改善を意欲的に取り組んでいる。一方、事務分野においても、これを支援して学生生徒の満足度を一層向上していくために経営の基本方針及び具体的方針を設定している。

■教育目標

□大学（出会えた、見つけた、未来の夢）

- ・講義、実験、野外実習などを通して、学生の個性と自主性を育みながら、基礎学力を修得する。
- ・学生同士、勉学や大学での社会的活動を通して協力することにより、視野が広く社会性に富む人材を育成する。
- ・大学で学んだ実学指向の専門知識・経験を社会で活用できる人材を育成する。

□短大（出会えた、見つけた、未来の夢）

- ・国家資格を有する自動車整備士を養成する。
- ・幅広い教養を基礎に、問題解決能力を育成する。
- ・分かりよい授業を心がけ、学生満足度を向上させる。

□高校（明るく楽しく感動にみちあふれた学校）

- ・確かな学力
自己の未来を切り開くために必要な、目指す進路に対応できる高い学力を育成する。
- ・しなやかな創造力
あらゆる局面において、常に自己の才能を十分に引き出せる柔軟な思考力を育成する。
- ・幅広い視野
国際社会を生きるために不可欠な、グローバルに物事を見ることができる能力を育成する。

■学生生徒等の満足度の向上を支援するための方針

①基本方針

- ・学生生徒等顧客を大切に、職場を明るくする。
- ・調和のとれた仕事の流れを作り上げる。
- ・自ら能力開発に努める。

②具体的方針

- ・本学院全体の連携強化と学生生徒等顧客へのサービス向上に心がけるとともに、明るく働きやすい職場の実現に努める。
- ・業務改善の視点を持って自己点検を行い、「最少の経費で最大の効果」が得られるよう、迅速かつ効率的な業務の遂行に努める。
- ・職員一人ひとりがそれぞれの達成すべき目標を定め、常に新しい分野に興味を抱いて、知識の涵養を図るとともに、自己研鑽に努める。

事業の概要

■法人

項目	事業	内容補足																								
組織編成	1 事務組織改編	<p>➢組織を統廃合することにより職員人件費の削減を図るため、組織編成の4部を2部に、9課を3課1室にそれぞれ改編</p> <p style="text-align: center;">(部の統廃合) (課の統廃合)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">総務部 財務部</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">法人本部</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">総務課 管財課</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">総務課</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">事務部 学生部</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">事務部</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">管理課 庶務課</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">庶務課</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">教務課 学生課</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学生支援課</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(短)庶務課 (短)学事課 (短)就職課</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">事務室</td> </tr> </table> <p>※当初計画を2年前倒しで実施</p>	総務部 財務部	→	法人本部	総務課 管財課	→	総務課	事務部 学生部	→	事務部	管理課 庶務課	→	庶務課				教務課 学生課	→	学生支援課				(短)庶務課 (短)学事課 (短)就職課	→	事務室
総務部 財務部	→	法人本部	総務課 管財課	→	総務課																					
事務部 学生部	→	事務部	管理課 庶務課	→	庶務課																					
			教務課 学生課	→	学生支援課																					
			(短)庶務課 (短)学事課 (短)就職課	→	事務室																					
教育	2 SD研修の取組み	<p>➢事務職員の能力向上を図るための集合研修を実施 [開催日] 9月10日(月) [講師] 秦 敬治(愛媛大学教授) [参加者] 事務職員56名、大学教員12名(理事8名、監事1名) [講演]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SD、FDの果たす役割と組織の活性 ・GP獲得のメリットについて ・GP獲得のための企画抽出(自大学の強み抽出作業、強みを活かす企画策定作業)ワークショップ ・意見交換会 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SD/Staff Development: 職員の能力開発 ・FD/Faculty Development: 教員の能力開発 ・GP/Good Practice: 文科省が奨める大学としての優れた取組み (この取組みに採択されると補助金が交付される。) </div> <p>※新たに私学経営研究会(私学経営の研究及び指導を目的とする唯一の公益法人)が実施する専門研修に個別参加</p>																								
財務	3 寄附金事業の拡大	<p>➢大学、短大、高校の教育振興を図るための寄附金事業(平成23年度創設)については、各学校同窓会の協力を得て同窓生に依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・依頼数 大学: 10,794名、短大: 5,656名、高校: 25,236名/41,686名 ・寄附金受入状況 平成23年度: 141件(1,181,000円) 平成24年度: 572件(2,008,000円) <p>※税額控除の通用 個人の寄附金に対しては所得控除に加えて、税額控除が通用(平成25年度から) 税額控除額=(寄附金額-2,000円)×40%</p>																								
その他	4 寄附行為変更	➢大学の学部改組(平成25年4月1日開設)に伴い寄附行為の変更を文部科学省へ届出																								
	5 創立85周年記念行事	➢本学院創立85周年の節目にあたることから、小中高生や地域住民へ各学校のPRを兼ねて効果的な記念行事の開催を予定したが、効果的かつ適切な行事が見当たらず断念																								

■大 学

項目	事業	内容補足																																																																								
教育内容の充実	<p>● キャリア教育の充実（全学部の学生を対象）</p> <p>1 自己の探求の開講</p>	<p>➢ 新入生に対しては入学式直前の2日間の日程で、ラーニングバリュー社の開発したプログラムにより、大学生活へのスムーズな導入、友達づくり、コミュニケーション力の向上などを目的として実施</p> <p>➢ 事前・事後のアンケート結果（下のグラフ）により身についたものとしては、上位から「発信力」、「主体性」（昨年度に同じ）の成果を得た。</p>																																																																								
		<table border="1"> <caption>身につけている (スキル別)</caption> <thead> <tr> <th>スキル</th> <th>受講前A (%)</th> <th>受講後B (%)</th> <th>差(B-A) (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>主体性</td><td>35</td><td>80</td><td>45</td></tr> <tr><td>働きかけ力</td><td>25</td><td>75</td><td>50</td></tr> <tr><td>実行力</td><td>40</td><td>78</td><td>38</td></tr> <tr><td>課題発見力</td><td>30</td><td>70</td><td>40</td></tr> <tr><td>計画力</td><td>38</td><td>65</td><td>27</td></tr> <tr><td>創造力</td><td>15</td><td>82</td><td>67</td></tr> <tr><td>発信力</td><td>45</td><td>78</td><td>33</td></tr> <tr><td>傾聴力</td><td>48</td><td>70</td><td>22</td></tr> <tr><td>柔軟性</td><td>45</td><td>75</td><td>30</td></tr> <tr><td>状況把握力</td><td>45</td><td>78</td><td>33</td></tr> <tr><td>規律性</td><td>45</td><td>78</td><td>33</td></tr> <tr><td>ストレスコントロール力</td><td>45</td><td>78</td><td>33</td></tr> <tr><td>好奇心</td><td>45</td><td>78</td><td>33</td></tr> <tr><td>持続力</td><td>45</td><td>78</td><td>33</td></tr> <tr><td>樂觀性</td><td>45</td><td>78</td><td>33</td></tr> <tr><td>リスクテイキング</td><td>45</td><td>78</td><td>33</td></tr> <tr><td>自分に対する自信</td><td>45</td><td>78</td><td>33</td></tr> </tbody> </table>	スキル	受講前A (%)	受講後B (%)	差(B-A) (%)	主体性	35	80	45	働きかけ力	25	75	50	実行力	40	78	38	課題発見力	30	70	40	計画力	38	65	27	創造力	15	82	67	発信力	45	78	33	傾聴力	48	70	22	柔軟性	45	75	30	状況把握力	45	78	33	規律性	45	78	33	ストレスコントロール力	45	78	33	好奇心	45	78	33	持続力	45	78	33	樂觀性	45	78	33	リスクテイキング	45	78	33	自分に対する自信	45	78	33
	スキル	受講前A (%)	受講後B (%)	差(B-A) (%)																																																																						
主体性	35	80	45																																																																							
働きかけ力	25	75	50																																																																							
実行力	40	78	38																																																																							
課題発見力	30	70	40																																																																							
計画力	38	65	27																																																																							
創造力	15	82	67																																																																							
発信力	45	78	33																																																																							
傾聴力	48	70	22																																																																							
柔軟性	45	75	30																																																																							
状況把握力	45	78	33																																																																							
規律性	45	78	33																																																																							
ストレスコントロール力	45	78	33																																																																							
好奇心	45	78	33																																																																							
持続力	45	78	33																																																																							
樂觀性	45	78	33																																																																							
リスクテイキング	45	78	33																																																																							
自分に対する自信	45	78	33																																																																							
	<p>2 学部基礎科目「キャリアデザイン」の開講</p>	<p>➢ 学生の職業意識や職業観を熟成させる6日間の集中講義をベネッセコーポレーションにより実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義、ゲストスピーカーによる講話、自己紹介書作成、筆記試験や個人面接・集団面接などのシミュレーションを体験 ・ 就職活動を有利に展開する情報・技巧を学修するとともに社会人として知っておくべきビジネスマナーや仕事を進める上で必要な素養を学修 <p>〔対象者〕 工学部及び情報デザイン学部の3年生全員（必修科目） 現代社会学部3年生（希望者）</p> <p>〔実施日〕 9月10日（月）～15日（土）</p>																																																																								
	<p>3 適性検査の実施</p>	<p>➢ 「大学生基礎力調査 I」としてベネッセコーポレーションにより実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この評価の結果を受けて、学生が自らのキャリアプランあるいはライフプランを実現するため、学生時代に行うべきことを見つける助けとなる。 ・ 現時点で学生が保有している意識・能力・資質が4つのカテゴリー（①進路設計、②基礎能力、③コミュニケーション能力、④職業意識）により把握 <p>〔対象者〕 平成24年度学部新入生（1年生）全員</p> <p>〔実施日〕 4月17日（火）</p> <p>〔受講率〕 95.9%（213名/222名）</p>																																																																								

●専門教育関連（各学部が目指す人材育成のために必要な教育内容の充実と改善を図る。）	
4 機械実習用機器の更新	・工学部が溶接機老朽化に伴い「TIG 溶接機」を購入し、学生の工作実習や依頼工作などで特殊溶接に活用
5 「情報デザイン特論」の開講	<p>➢情報デザインに関する知見を広げることを目指した講演等を実施</p> <p>[対象者] 1～3 年生</p> <p>[講演会] 外部講師による教育講演会（6 回開催）</p> <p>[テーマ] “クリエイターになるには”、“新しい時代の感性とデザイン”等</p> <p>[その他] 大原美術館見学・美術品鑑賞（バスツアー）</p>
6 卒業制作選抜展の開催	<p>➢情報デザイン学部の卒業研究・卒業制作を学内のほか学外に公表</p> <p>[開催日] 2 月 22 日～24 日</p> <p>[開催地] 広島市アステールプラザ</p> <p>[来場者] 大学関係者のほか 100 人を超える一般市民が来場</p>
7 講義資料等印刷用機器の更新	・現代社会学部が印刷機の年限超過に伴い「リソグラフ」を購入し、講義資料や研究資料の印刷に活用
●資格取得関連（各学部が資格取得のために特別に行うもので特別教育費の補助があるもの）	
8 CCNA	<p>➢シスコ社が認定する資格を取得するための授業シリーズ</p> <p>・開講授業：インターネット基礎、ネットワーク管理、LAN 設計、WAN 設計</p> <p>[受講者] 2 年生：17 名、3 年生：12 名</p> <p>・2 年生については 1 名が CCENT（ICND1）を受験し合格した。</p> <p>・3 年生の資格取得試験の受験者はなく、次年度に受験予定</p> <p>➢認定ライセンス契約を継続するとともに、実習に必要なルータ・スイッチ等の機器の一部を更新</p>
9 電気工事士	<p>➢資格取得のための授業科目は集中講義で実施し、実技指導は個別指導を含めて特訓</p> <p>・第一種及び第二種電気工事士の筆記試験と実技試験をサポート</p> <p>[第二種電気工事士の試験] 筆記合格者 8 名/受験者 12 名 実技合格者 8 名/受験者 11 名</p> <p>[第一種電気工事士の試験] 筆記合格者 3 名/受験者 3 名 実技合格者 2 名/受験者 4 名</p>
10 社会調査士	<p>➢社会調査協会が認定する社会調査士等の資格を取得するための科目を開講するとともに課外のフィールドワークをサポート</p> <p>[社会調査士資格] 4 年生：5 名取得 3 年生：7 名取得見込み</p>
11 TOEIC	<p>➢英語のリスニングとリーディングの能力テストの受験対策と受験料の補助</p> <p>・英語能力向上を図るために年 2 回実施</p> <p>[7 月 20 日の試験] 受験者：29 名（平均点 310.2 点）</p> <p>[1 月 11 日の試験] 受験者：22 名（平均点 356.4 点）</p>
12 日本語能力試験	<p>➢模擬試験の実施や受験料の軽減等で留学生の受験支援を行うとともに継続的な日本語学習を促すために年 2 回実施</p> <p>[7 月の試験] N1：合格者 4 名/受験者 41 名</p> <p>[12 月の試験] N1：合格者 3 名/受験者 36 名</p>

教育内容・方法の改善	● アンケートの実施 (学生アンケートの実施により、教育方法・内容・環境を改善)	
	13 学生による授業アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・前期・後期とも実施 ・授業は全体的に改善 ・個々の教員にあつては、改善に差が現れている。 ・アンケート結果は報告用冊子に掲載し公表しているが、近年、冊子の閲覧数が減少
	14 学生満足度調査	<ul style="list-style-type: none"> ・チューターと学生の結びつきを深めることが課題であった。 ・昨年度と比べると成果が現れていない。 ・関係部門のより一層の努力が必要 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: right;">〔 〕 内前年度</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>チューターと話している。→ 83.1% [85%]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>チューターと全く話したことが無い。→14.5% [13%]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>授業を3回以上欠席した学生のうちチューターから指導を受けた。→29.3% [28%]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ホームルームに全く出席したことが無い。→28.2% [29%]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>オフィスアワーを利用している。→40.1% [44%]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>オフィスアワーを全く利用したことが無い。→55.2% [51%]</p> <p>[対象者] 全学部生</p> <p>[実施日] 9月</p> </div>
	15 卒業アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式当日に実施 (158名/167名) ・学生生活への満足感と感謝の意を表す回答が大部分を占めた。 ・設備や制度面の不満は、食堂、ATM、エレベーター、PC のスペースの強化、設備の更新等
国際協力・国際交流	● 外国の大学や研究機関と協定 (外国の大学や研究機関と協定を結び、共同研究や学生の教育を実施)	
	16 タイ農業省・ARDA (Art Resources Development Association/NPO 法人芸術資源開発機構) との国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ➢教員、研究者、学生の相互派遣による教育・研究の推進を目指して実施 ・タイ農業省を訪問し、農業政策の現状と地質による最適農法技術開発を中心に施設を見学 <p>[実施日] 9月11日(火)～16日(日)</p> <p>[参加者] 8名(学生7名、引率教員1名)</p>
	17 インドのラベンジャウ大学との国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ➢今年度(平成24年度)新たに協定を結んだラベンジャウ大学と学生交流や共同研究などの推進を目指して実施 ・今年度(平成24年度)は中心となる教員の体調不良のため活動できなかった。
	18 韓国の漢城大学との交流	<ul style="list-style-type: none"> ➢メディアアート、メディアエンタテインメントの分野における学術交流を行い、将来の学生交流の条件等可能性について調査 <p>[実施日] 9月10日(月)～22日(土)</p> <p>[派遣者] 教員:2名</p>
	19 オーストリアのリンツ芸術工科大学との交流	<ul style="list-style-type: none"> ➢交流を推進するために教員を派遣 <p>[実施日] 9月17日(月)～10月27日(土)</p> <p>[派遣者] 教員2名</p>
	20 留学生交流会	<ul style="list-style-type: none"> ➢学生課と留学生会が主催する交流会によって、留学生が本大学での学生生活を円滑に送れることを目指して実施 <p>[開催日] 平成24年6月19日(火)</p> <p>[開催地] 本大学学生会館3階</p> <p>[参加者] 94名(留学生67名、日本人学生19名、教職員8名)</p>
	21 異文化体験授業Ⅰ・Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ➢スクーバダイビングの研修を兼ね太平洋諸島に1週間滞在 ・異文化に興味を持たせ第2次世界大戦激戦地を訪問し、現地住民との交流を実施 <p>[開催日] 12月9日(日)～16日(日)</p> <p>[開催地] ロタ島(北マリアナ諸島)</p> <p>[参加者] 8名(学生7名、引率教員1名)</p>

	22 異文化体験と語学研修	▶米国オレゴン州にホームステイしてオレゴン州立大学で語学研修を実施 ・その後カリフォルニア州、アリゾナ州などを訪問し、現地の人々と英語で会話することにより英会話力の向上を図った。 [開催日] 2月28日(木)～3月17日(日) [開催地] オレゴン州立大学ほか [参加者] 8名(学生7名、引率教員1名)
安全・安心、快適サービスを提供できる施設・設備の整備充実	23 大学施設等の改修・修理	▶ 大学が使用する施設等の修理・改修 ・高城体育館前水槽塗装工事 [8月末工事完了] ・1号館渡り廊下塗装工事 [4月初旬工事完了] ・3号館4階3406号室空調機修繕工事 [ロッカールーム設置場所変更のため修繕工事中止] ・情報処理センター空調機取替工事 [5月末工事完了] ・女子便所前等監視カメラ設置 [9月中旬設置完了] ・女子談話室電源工事 [8月末工事]
	24 学習環境の整備	▶学生が使用する施設や環境等を整備し学習環境を充実 ・男子学生用ロッカー495個設置(学生証を鍵として使用) (6号館1階253個、9号館1階121個、10号館2階121個/計495個) ・ロッカーの長期占有、汚損、破損等の不正使用を管理するために、学生支援課に管理モニター設置(3月末設置完了) ・611教室AV設備更新(平成24年4月末更新完了)
高大連携・出張講義	●出張講義(系列高校、協定している高校との間で特別講義等及び依頼を受けた高校に出向いて生徒に興味深いテーマや話題性のあるテーマについての講義を実施)	
	25 系列高校での特別講義	・普通科2年生:「おもしろ技術体験」、「おもしろ社会ウォッチング」の授業を実施 ・総合学科2年生:「先端科学」、「情報文化」、「国際関係法I」の講義を実施 ・オープンスクール:公開授業を実施
	26 系列高校以外の高校	・直接本大学に依頼のあった出張講義は6校12件
地域における知識とノウハウの提供	●社会貢献(本大学の有する物的資源や人的資源を活用して地域社会の発展のための事業を実施)	
	27 公開講座	▶袋町キャンパスにおいて一般社会人を対象とした講座・講演会等の公開講座実施 ・外部講師の有料講座:15講座 ・無料講座:3講座 ・学内講師の有料講座:5講座 ・無料講座:4講座 ・講演会等:3回
	28 瀬野川イルミネーション点灯式支援	・バンドサークルの演奏、ロボット実演を行い、VODクラブが放送関連全般を担当 ・情報デザイン学部の学生は、イベントの告知ポスター、チラシのデザインとイラストを担当 [開催日] 平成24年12月8日(土) [開催地] ほことり広場 [来場者] 約4,000人

	29 薬物乱用防止教室	<p>▶本年度の薬物乱用防止クラブの学生数は、新たに教育認定講師となった6名を加え、合計19名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島フェニックスライオンズクラブの指導・支援を受けながら、薬物乱用防止教室を実施 <p>[開催地] 広島市・廿日市市内にある小・中・高校 (17回実施) [参加者] 延41名 (学生が講師として参加)</p>						
	30 教員免許更新講習	<p>[講習内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必修講習：文部科学省が指定した内容に対応させ、教育実践、研究者、教育行政の専門家等を多数招聘して実施 ・選択講習：本学の特色を活かして、科学技術工業系、情報系、社会系の3コースを開設 <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無記名の受講者事後評価アンケートでは、いずれも高い評価点を得た。 ・自由記述においても「受講して良かった」という趣旨の意見が圧倒的に多かった。 <p>[開催日] 8月1日(水)～8月7日(火) (土日は除く) [受講者]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習の効果が低下しないように、内容に応じて定員を設けた。 ・受け付け開始間もなく定員に達したので、許容範囲の1.3～2倍を受入 						
	31 産業教育実習助手研修会	<p>▶受講状況とレポートによって、受講者は教職科目1単位、教科の科目2単位を修得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事後アンケート調査結果は良好 <p>[開催日] 8月27日(月)～8月31日(金) [受講者] 19名</p>						
その他		<ul style="list-style-type: none"> ● 学生募集活動 (改組に伴う募集活動の強化及びび学生募集戦略検討会議で決定する戦略・戦術を適宜取り入れて募集活動を実施) <p>◆直接的募集活動</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="408 1335 695 1771"> 32 広報・広告等の充実 </td> <td data-bbox="695 1335 1414 1771"> <ul style="list-style-type: none"> ・広告等による宣伝 新聞8社29回、テレビ2社160本、ラジオFM3社、雑誌18種、WEB4種、 ・折り込みチラシ33万枚、バス・JR車内吊り広告3社26日間 ・要覧の送付 大学案内(15,000冊)、奨学制度ガイド(13,000部)、出張講義チラシ(2,000枚)、入試ガイド(12,000冊)、大学学生募集要項(10,000冊)、大学過去問題集(1,200冊)、資料、DM等 ・資料請求者約4,000名に大学資料送付 ・オープンキャンパス参加生徒礼状送付300名 ・県内1、2年生の資料請求者に年賀状送付約1,800名 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 1771 695 1845"> 33 高校訪問 </td> <td data-bbox="695 1771 1414 1845"> <ul style="list-style-type: none"> ・入試相談員(3名)により実施：1,000校 ・教職員プロジェクトチームにより実施：368校 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 1845 695 1960"> 34 高校教員を対象にした本大学主催入試説明会の実施 </td> <td data-bbox="695 1845 1414 1960"> <p>[開催日] 6月13日、27日(本学29名) 6月20日(三次3名) 6月29日(福山4名)</p> </td> </tr> </table>	32 広報・広告等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・広告等による宣伝 新聞8社29回、テレビ2社160本、ラジオFM3社、雑誌18種、WEB4種、 ・折り込みチラシ33万枚、バス・JR車内吊り広告3社26日間 ・要覧の送付 大学案内(15,000冊)、奨学制度ガイド(13,000部)、出張講義チラシ(2,000枚)、入試ガイド(12,000冊)、大学学生募集要項(10,000冊)、大学過去問題集(1,200冊)、資料、DM等 ・資料請求者約4,000名に大学資料送付 ・オープンキャンパス参加生徒礼状送付300名 ・県内1、2年生の資料請求者に年賀状送付約1,800名 	33 高校訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・入試相談員(3名)により実施：1,000校 ・教職員プロジェクトチームにより実施：368校 	34 高校教員を対象にした本大学主催入試説明会の実施	<p>[開催日] 6月13日、27日(本学29名) 6月20日(三次3名) 6月29日(福山4名)</p>
32 広報・広告等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・広告等による宣伝 新聞8社29回、テレビ2社160本、ラジオFM3社、雑誌18種、WEB4種、 ・折り込みチラシ33万枚、バス・JR車内吊り広告3社26日間 ・要覧の送付 大学案内(15,000冊)、奨学制度ガイド(13,000部)、出張講義チラシ(2,000枚)、入試ガイド(12,000冊)、大学学生募集要項(10,000冊)、大学過去問題集(1,200冊)、資料、DM等 ・資料請求者約4,000名に大学資料送付 ・オープンキャンパス参加生徒礼状送付300名 ・県内1、2年生の資料請求者に年賀状送付約1,800名 							
33 高校訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・入試相談員(3名)により実施：1,000校 ・教職員プロジェクトチームにより実施：368校 							
34 高校教員を対象にした本大学主催入試説明会の実施	<p>[開催日] 6月13日、27日(本学29名) 6月20日(三次3名) 6月29日(福山4名)</p>							

35 系列高校との連携		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学見学会（生徒対象）</td> <td>6月15日 22日</td> <td>100名</td> </tr> <tr> <td>大学見学会（教員対象）</td> <td>7月7日</td> <td>23名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">学部分野説明会（業者仲介）</td> <td>6月1日</td> <td>普通科 1年生対象</td> </tr> <tr> <td>10月17日</td> <td>総合学科 1年生対象</td> </tr> <tr> <td>12月14日</td> <td>2年生全員対象</td> </tr> <tr> <td>系列高校文化祭への出展</td> <td>11月18日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>系列高校保護者説明会へ資料提供</td> <td>2月2日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	開催日	参加者	大学見学会（生徒対象）	6月15日 22日	100名	大学見学会（教員対象）	7月7日	23名	学部分野説明会（業者仲介）	6月1日	普通科 1年生対象	10月17日	総合学科 1年生対象	12月14日	2年生全員対象	系列高校文化祭への出展	11月18日		系列高校保護者説明会へ資料提供	2月2日	
	区分	開催日	参加者																					
	大学見学会（生徒対象）	6月15日 22日	100名																					
	大学見学会（教員対象）	7月7日	23名																					
	学部分野説明会（業者仲介）	6月1日	普通科 1年生対象																					
		10月17日	総合学科 1年生対象																					
		12月14日	2年生全員対象																					
系列高校文化祭への出展	11月18日																							
系列高校保護者説明会へ資料提供	2月2日																							
36 高城教友会との懇談会	[開催日] 7月21日 [参加者] 42名																							
37 オープンキャンパス	[開催日] 6月24日、7月29日、8月25日 [参加者] 428名																							
38 大学説明会（ミニオープンキャンパス）	[開催日] 9月29日 [参加者] 11名																							
39 進学説明会等	・本大学進学相談会 [開催日] 7月21日、8月7日、9月8日、10月6日 [参加者] 8名 ・業者主催進学説明会等 高校内説明会：計140回 会場形式入試説明会：計111回																							
40 大学随時見学	<table border="1"> <thead> <tr> <th>参加校</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⇒市立広島工業高校</td> <td>4月23日</td> <td>43名</td> </tr> <tr> <td>⇒瀬戸内高校</td> <td>7月21日、2月19日</td> <td>78名</td> </tr> <tr> <td>⇒福山工業高校</td> <td>8月21日</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>⇒益田東高校</td> <td>11月12日</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>⇒呉工業高校</td> <td>11月19日</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td>⇒尾道高校</td> <td>11月20日</td> <td>24名</td> </tr> </tbody> </table>	参加校	開催日	参加者	⇒市立広島工業高校	4月23日	43名	⇒瀬戸内高校	7月21日、2月19日	78名	⇒福山工業高校	8月21日	12名	⇒益田東高校	11月12日	13名	⇒呉工業高校	11月19日	33名	⇒尾道高校	11月20日	24名		
	参加校	開催日	参加者																					
	⇒市立広島工業高校	4月23日	43名																					
	⇒瀬戸内高校	7月21日、2月19日	78名																					
	⇒福山工業高校	8月21日	12名																					
	⇒益田東高校	11月12日	13名																					
	⇒呉工業高校	11月19日	33名																					
⇒尾道高校	11月20日	24名																						
41 出張講義（業者主催を除く。）	⇒賀茂高校、⇒瀬戸内高校、⇒武田高校、⇒高森高校、⇒吉田高校、⇒西条農業高校、⇒福山商業高校など7校12回																							
◆間接的募集活動	・高大連携・出前授業 ・きめの細かい丁寧な教育 ・就職支援																							
● 就職支援（就職率向上のために実施した各種行事）																								
42 企業と大学の情報交換会	[開催日] 10月12日（金） [開催地] リーガロイヤルホテル [参加者] 104名（83企業）、本大学教職員44名																							
43 学内合同企業セミナー	[開催日] 2月14日（木）・15日（金） [開催地] 本学高城体育館アリーナ [参加者] 90企業、本大学学生：14日88名、15日83名																							
44 合同企業説明会＆面接会	[開催日] 6月26日（火） [開催地] 中野キャンパス学生会館3階 [参加者] 20企業、本大学学生34名																							

■短 大

項目	事業	内容補足
学生に最高の教育を提供	● とことん面倒を見る教育の強化	
	1 入学前事前教育（継続）	▶教員による通信添削を3回実施 ・内容の理解度を入学後の数学統一試験で確認し、例年どおり習熟度別クラス分けに利用
	2 入学後の学習動機付け教育の実施（継続）	▶就職活動に備えるために整備業(前期)、就職対応ゼミ(後期)を外部講師の指導により実施 ・前期：進路の方向性 ・後期：卒業生による実体験講話やマナー講習など
	3 授業満足度の向上（継続）	▶授業改善につながる効果的なアンケートを前・後期末に実施 ・結果を次年度の教授法の改善点に反映する計画を各教員が立案
	4 留年・退学学生数の低減活動	▶1・2学年にチューターを配置 ・1年次から担当教員によるきめ細かい学習指導を行い、学生生活の悩みなどへきめ細かく対応 ▶出欠表を全員に配付 ・欠席過多、進捗不振学生の早期発見と情報共有化による対応及び習熟度別授業の実施と学習指導の改善について検討 ・学生情報の共有化を図り、FD活動を通して問題点を把握し、学生指導へ反映
	5 整備士等各種資格取得の支援	▶現行の指導システムによって資格取得事務局において計画的な各種講座開催を実施 ・多くの資格を取得できる環境を設定
	● カリキュラム改革・キャリア支援等	
	6 学生の興味を引くカリキュラムの検討	▶実習系ゼミの充実と新規実習ゼミの追加検討 ※次年度（平成25年度）開講予定である2輪ゼミの機材などの準備を完了
	7 学生生活の満足度向上	▶行事等実施 ・学生交流会（入学時、クリスマス）、研修旅行（8月）等 ・専攻科のダートラリー競技参加 ・フォーミュラカー・電気自動車製作活動は継続 ▶結果はほぼ例年どおり ・生活満足比率：76% ・本短大への満足比率：83% ・2G講習会満足比率：88%
	8 授業満足度の向上	▶前期がやや目標を下回る。 ・1年次（前期：52%）、（後期：71%） ・2年次（前期：64%）、（後期：75%）
9 留年・退学学生数の改善	▶卒業率が目標の95%を下回り、進路変更者は例年より増加 ・留年率：9% ・退学率：9% ・修業年限（2年間）での卒業率：71%	
10 整備士合格者の維持	▶概ね目標率を達成 ・2G：98.5% ・2D：100% ・1級：83.5%	

	11 各種資格合格者	▶例年どおりの目標を達成 ・中古車査定士：100% ・ガス溶接、フォークリフト、小型建設機、低電圧取扱、有機溶剤：100% ・アーク溶接、国内Bライセンス：未開講 ・損害保険：82% ・危険物乙4：19%（危険物乙4の合格者数は減少）
就職・キャリア活動支援	● 就職支援活動の強化と多様化（外部機関評価等の準備のための取組み）	
	12 三点セットによる就職支援・指導	▶就職ゼミの受講、会社訪問、会社説明会への出席を積極的に指導
	13 企業との連携	▶企業と良好な信頼関係を維持するための教員による企業訪問、情報交換・懇談会の実施
	14 整備業以外の求人先の拡大と開拓	・就職率：100% ・進学率：100%（対希望者） ・進路決定率：97%
安全・安心、快適サービス提供できる施設・設備の整備充実	● 教育環境・設備の改善整備	
	15 装置・教材の充実	・スピードメータテストの更新 ・デジタルオシロは計画的に購入(実習に活用) ・電気自動車バッテリーリースの継続
	16 建物設備の改修、改善、充実	・厨房機器保守 ・実習場床塗装、実習場高所美化 ・草刈り機購入 ・消火器、ガス漏れ警報器更新 ・保管用中古コンテナ、中量物整理棚購入
地域における知識とノウハウの提供	● 地域貢献（外部機関評価等の準備を含めて実施）	
	17 地域参加型のイベント実施（継続）	▶自短夏祭り開催 ・レトロバス試乗会、子供会太鼓演奏、工作教室などのイベントを提供 [参加者] 約200人 ▶ゼロハンカー競技会開催
	18 環境美化キャンペーン実施	▶学友会指導で6月・10月に実施 ・学内、学生駐車場を重点的に清掃
その他	● 自己点検・評価活動（外部機関評価等の準備）	
	19 全国自動車短期大学研究発表会（幹事校）	[開催日] 8月6・7日 [参加者] 本短大を含め8短大77名
	20 第2クールの第三者評価受審準備（平成25年度受審予定）	▶自己点検評価委員会の活動開始 ▶平成22・23年度版の自己点検評価報告書(新評価基準)作成 ・第三者評価受審用の報告書に活用
	21 経費の有効活用	▶予算を計画的に、かつ必要最小限に執行 ・当初予算に対する執行率：85%
	● 入学定員の確保	
22 ホームページと広報資料の充実	▶ホームページを新デザインに更新 ・これまでどおり学内イベントなどをリアルタイムでブログに掲載し、本短大の情報発信に活用 ▶ホームページ保守、広報資料の作成 ▶本短大の魅力訴求用パンフレット作成	

23 オープンキャンパス・ 体験入学の魅力アップ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イベント付きオープンキャンパス</td> <td>4回</td> <td rowspan="3">3年生 80名</td> </tr> <tr> <td>体験入学、ミニオープンキャンパス</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>臨時ミニオープンキャンパス</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>	区分	開催回数	参加者	イベント付きオープンキャンパス	4回	3年生 80名	体験入学、ミニオープンキャンパス	6回	臨時ミニオープンキャンパス	2回
	区分	開催回数	参加者								
	イベント付きオープンキャンパス	4回	3年生 80名								
	体験入学、ミニオープンキャンパス	6回									
	臨時ミニオープンキャンパス	2回									
24 高校訪問の効果的実施	▶年度初めには高校訪問に係る学内研修会を開催 ・高校訪問実施回数：3回 ・各回の訴求点を統一し、各教員が訪問										
25 出前授業等による短大の魅力を紹介	▶自動車に対する興味、関心喚起のため業者主催の出前授業に積極的に参加 ・本短大の魅力をPR ・機材などを利用した体験型の授業を展開										
26 重点高校との情報交換会の実施	▶コンスタントに入学を受け入れている近隣の高校進路指導教員との情報交換を実施 ・入学した学生の近況を報告し、意見・要望などの意見交換実施										
27 入試関連	▶指定校、女子の授業料減免策やそのほかの奨学制度などを高校訪問時や入試説明会などで高校側に訴求 ・学科入学者数：64名 ・専攻科入学者数：8名										

■高 校

項目	事業	内容補足
生徒に最高の教育を提供	● 学校評価の導入	
	1 学校評価の取組み	<p>➢法令（学校教育法・同施行規則）及び広島県補助金交付要件である次の三要素を含めて学校評価の取組みに着手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の実施・公表 ・学校関係者による評価の実施・公表 ・自己評価並びに学校関係者評価の結果を設置者（理事長）へ報告 <p>※本高校では、これまでに学校評価の一部にあたる各会（部・科・コース・学年・教科単位）の点検や生徒へのアンケート調査（後記2参照）を実施しており、これらを効果的に組み合わせながら学校評価を進める。</p>
	2 生徒への学校・学級満足度アンケート調査実施	<p>➢平成16年度から実施している「生徒による授業アンケート（評価）」は反復慣用による有効性の低下を鑑み、今年度（平成24年度）については学校・学級生活満足度アンケート調査を全学年で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会開催 〔講演者〕外部講師 〔講演〕学級運営について <p>※平成25年度のアンケート調査実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業アンケート調査実施（本高校全教員の授業力の向上を目指す。） ・学校・学級生活満足度アンケート調査実施（学生の学力向上を目指す。）
	3 退学者数の減少への取組み	<p>➢平成12～21年の10年間の退学者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年10名を超え ・全校生徒数に対する退学率は1%～2% <p>➢平成22～24年度の3年間の退学者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒数に対する退学率は0.6%前後で推移 ・この改善は全教職員によるさまざまな取組みの結果であり、引き続き退学率の減少に向けて取り組む。
	4 新入生特別活動の実施	<p>➢新入生集団宿泊研修を、「江田島青少年交流の家」にて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入生には本高校生徒としての心構えを認識・確認させる。 ・カッター訓練等の体験を通して対人関係力などの能力開発を行った。
安全・安心、快適サービスを提供できる施設・設備の整備充実	● 学校運営システムの継続的稼働	
	5 学校運営システムの運用	<p>➢平成18年度から稼働した「学校運営システム」は、必要に応じたカスタマイズを繰り返してきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度（平成24年度）についても、より一層の有効活用を目指して改良し運用 <p>※入試システムを新規導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度中に入試システムを新規に導入し、「学校運営システム」と連動する。
	● 教育環境の整備	
	6 プロジェクター等の機械器具を設置	<p>➢高大連携授業を展開する上で、プレゼン授業に必要とするプロジェクター等の機械器具の設置と関連教室の整備</p>
	7 パソコン教室を改修・拡大とパソコン増設	<p>➢教育環境整備の一環として、現存のパソコン教室を改修・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを44台（従来の2倍）設置 ・これにより教員配置を含む時間割作成に難を来すことが減少 ・生徒の講座への出席が増大しても、その対応が可能

国際交流事業 の一層の充実	● 国際教育交流事業の推進（今年度（平成 24 年度）も海外高校との交流並びに国際教育を推進）	
	8 海外校との交流	▶韓国・陵谷高校（公立） ・本高校が修学旅行で渡韓（10月12日）した際に交流 ※なお、昨年度（平成 23 年度）に実施した韓国修学旅行において陵谷高校（公立）と半日の交流会を行った際には、姉妹校としての交流を要望されていたが、今年度（10月）の修学旅行訪問した後は経済的理由により交流を解消する旨の通告を受けた。 ▶イギリス・ベックフットスクール ・訪日期間中（10月20～28日）に、本高校へ来校した際に交流
	9 アメリカより短期留学生受け入れ	▶アメリカより短期留学生受け入れ ・受入者：Buchele Anna（16歳） ・受入期間：6月15日～7月20日
	10 キズナプロジェクト	▶キズナプロジェクトとして、アメリカ・フォートヘイズ高等学校より来校 ・生徒：23名 ・引率教員：2名 ・来校期間：7月17日・18日
	11 国際交流委員	▶留学生等の受け入れにあたり国際交流委員を配置 ・委員：各学級より2名選出（3年生は除く。） ・活動内容：歓迎式準備、国旗掲揚、留学生の世話など ・今後は国際交流意識の高揚へ向けて役割の内容を検討
	12 海外姉妹締結校の解消	▶イギリス・ベックフットスクール ・学校予算削減のため、本高校との姉妹校関係を解消 ▶オーストラリア・グローブデール校 ・音信不通により姉妹校関係を解消
	● 平成 25 年度実施予定	
	13 新規交流事業	※平成 25 年度からは韓国・京畿道・土坪（トピョン）高校と、修学旅行時に交流予定
	14 その他	▶関連予定 ・ドイツから留学生受け入れ（ラモン デミル 16歳） ・夏期アメリカ語学研修（8月予定） ▶参考 ・インターネクス語学研修実施（8月1～16日）
	高大連携の一層 の充実	● 系列大学との連携（系列大学の教員を招聘、充実した授業や講義にするためプレゼン用の機械器具の整備充実）
15 普通科 2 学年		▶「総合的な学習の時間」を活用し「おもしろ技術体験」（17年度から継続）、「おもしろ社会ウォッチング」（19年度から継続）を開講 ・派遣教員：系列大学 3 学部の教員
16 総合学科選択講義		▶平成 23 年度から、系列大学の各学部で開講される次の 3 講座のうちから 2 講座を選択（週 1 時間受講） [対象者] 総合学科 2 学年 ・工学部：「先端科学」 ・情報デザイン学部：「情報文化」 ・現代社会学部：「国際関係法 I」
17 公開講座等		▶オープンスクール・文化祭の開催に際し、遺伝子工学・バイオエタノール車・水質分析・ロボット・ストラップ製作・中国語会話などの展示・実験・公開講座を実施

地域における知識とノウハウの提供	● 地域への奉仕活動並びに地域との交流活動	
	18 クリーンキャンペーンの実施	▶地域清掃活動（グリーンキャンペーン） ・平成 19 年（1 月）から継続している毎週 1 学級全員による活動を年間通して実施 ▶地域清掃活動 ・継続実施している月 1 回の生徒保健委員会による活動を実施
	19 グリーンキャンペーンの実施	▶植栽プランターの設置（グリーンキャンペーン） ・平成 22 年度から継続している各クラスによる活動実施するほか校外へ活動の場を拡大
	20 「第 5 回海田町民グラウンドゴルフ大会」の実施	▶本高校文化祭の開催に合わせて、地域住民に本高校教育の一端を理解していただくことを目的の一つとして実施
	21 地元の盆踊を披露	▶本高校 3 年生は地元住民の方々から指導を受けて体育祭において披露 ・初回の平成 20 年度は「海田音頭」、それ以降は「熊野筆まつり唄」、「東広島音頭」、昨年度（平成 23 年度）は「新府中音頭」を披露 ・今年度（平成 24 年度）は、東日本大震災により広島県へ避難している被災者への思いを込めて福島県相馬地方に踊り継がれている「相馬盆唄」を披露
生徒募集活動	22 今年度（平成 24 年度）の募集活動	・配付用パンフレット・チラシ・ポスター作成 ・中学校訪問（約 90 校×2 回） ・各中学校入試説明会（13 校） ・呉地区中学校合同説明会 ・東広島地区合同説明会 ・各塾での出前公開授業・説明会 ・保護者対象入試説明会（8 月 25 日） ・私塾対象入試説明会（9 月 13 日） ・オープンスクール（9 月 22 日・23 日） ・私学フェスタ（10 月 8 日） ・「国際模試」実施（10 月 7 日） ・保護者対象学校見学会（8 回／計 71 名 昨年度 45 名）
	23 定員充足	▶募集定員 400 名について ・広島県補助金交付の基準は、現在のところ募集定員を基礎数としているが、今後は学則定員を基礎数として一定の充足率を下回る場合は交付額を減額させる仕組みが検討されている。 ・その状況を見極めながら場合によっては募集定員から学則定員へ事業目標を切り替えることにしたい。 [募集定員：400 名 → 収容定員：1,200 名] [学則定員：440 名 → 収容定員：1,320 名]